

V

KOBE COLLEGE
NEWSLETTER

Vistas

“Beauty Becomes a College”



23

2013・June

●Published by KOBE COLLEGE

神戸女学院大学

世界とつながる、新しい共通英語教育

●「語学力を高める英語教育」は、共感性を高める英語教育から

〈鼎談〉

飯 謙 (神戸女学院大学 学長)

寺嶋 正明 (神戸女学院大学 共通英語教育研究センター長・人間科学部 教授)

川越 栄子 (神戸女学院大学 共通英語教育研究センター 教授)

人間が生まれ持つ言語運用能力を解明する——5

心理言語学における言語の役割とは
文学部 英文学科 松尾 歩 教授

“その人らしい生活”を叶えるために——9

精神保健福祉士 松村 雅 さん

●ラーニング・commons開設記念

学びの拠点を図書館に——11

図書館長 小松 秀雄 教授
図書館課長 石村 真紀 さん

●文学部主催講演会

夢をあきらめないで ～夢を実現させるために～——13

総合文化学科 3年生 関 さん
英文学科 3年生 新田 さん
総合文化学科 1年生 鴨志田 さん
英文学科 2年生 越道 さん

●キャリアサポーター制度

学生が企画する、実践さながらの就活支援講座——15

キャリアセンター 課長 樽本 裕見子 さん
文学部 英文学科 4年生 佐々木 さん
文学部 英文学科 4年生 松井 さん
人間科学部 心理・行動科学科 4年生 三宮 さん

●“大島初枝記念賞”受賞者インタビュー

自分の目で見て、肌で感じて、“受け入れる”——17

文学部 英文学科 3年生 定森 さん

●学生支援ネットワーク主催・新入生キャンパスツアー

充実したキャンパスライフを送るために——18

人間科学部 環境・バイオサイエンス学科 3年生 松尾 さん
人間科学部 心理・行動科学科 3年生 岸本 さん

KCインフォメーション——19

世界とつながる、新しい共通英語教育

●「語学力を高める英語教育」は、「共感性を高める英語教育」から



●神戸女学院大学 学長
飯 謙—— *II Ken*
●神戸女学院大学 共通英語教育研究センター長
人間科学部 教授
寺嶋 正明—— *TERASHIMA Masaaki*
●神戸女学院大学 共通英語教育研究センター教授
川越 栄子—— *KAWAGOE Eiko*

神戸女学院大学は、グローバル社会で活躍するための英語運用能力と国際感覚を身につけた女性の育成を目指し、2014年4月より新たな共通英語教育を始動する。主な対象は英文学科以外の学生。導入にあたり英語の講義時間は従来の倍にあたる週4コマとなり、学生は1・2年次に全学科共通のカリキュラムで基礎力を強化し、3・4年次では同じ領域の学問を学ぶ海外の大学生とのさまざまな国際交流プログラムを通して世界と交流する機会が増える。飯学長を交え、共通英語教育研究センター長の寺嶋教授、同センターの川越教授が「共通英語教育研究センター」開設の背景や、大学における英語教育の在り方などについて語り合う。

学生の興味に即した英語教育を

飯 2010年より本学の英語教育改革について検討を始め、寺嶋先生を中心に共通英語の在り方についての議論を重ねてきました。この4月より「共通英語教育研究センター」が開設され、2014年度にはついに新たな共通英語教育が始動します。神戸女学院では創立以来、建学の理念の一つである「国際理解の精神」が形として見えるよう、生きた英語教育に力を注いできました。今回のプログラムは、その伝統を現在の状況に活かし、継承・発展させるものです。寺嶋先生からその具体的な内容をお話しいただけますか。
寺嶋 新たな共通英語教育は、本学のミッションステートメントである「共感性の高い人格」の養成に結びつく内

容であり、一般的な英語教育だけでなく、全ての学生に専門分野と結びついた英語力、コミュニケーション力を培うことを目指します。新しく導入するオリジナルテキストは、新カリキュラムの特長の一つです。これは1年生前期の「Reading and Writing English」の講義で使用し、現在、川越先生を中心に編集作業を進めています。神戸女学院大学の紹介、歴史、大学生活、卒業生の活躍などが記述されており、英文法と読解力の基礎をブラッシュアップすることができる大変充実した内容です。

川越 ありがとうございます。早速、現1年生にテキストの冒頭の文章「Kobe College is a four-year, private, women's college located in Nishinomiya, Hyogo, Japan.」を暗記させました(笑)。テキストの表現を覚えることで、学生は自分の大学について説明できるようになります。外国人の人と知り合うにしても、まず自分について語れなくてはなりません。全国でトップレベルの大学生ですら、英語は読めても話せないことが多いという現状があります。神戸女学院大学の学生には自分の属する大学や自身について

語れる人になって欲しい。オリジナルテキストはその第一歩です。テキストをしっかり勉強することによって、就職活動の面接の場などでも臆せず話せるようになると思います。

また、テキストの巻末には日常生活に必要であり、本学の学生として覚えて欲しい単語と表現を1000個程集約して掲載し、同じものをスマートフォンアプリとして導入します。オリジナルのスマホアプリを出すのは恐らく本学が始めて。どこでも気軽に勉強して貰いたいのです。

寺嶋 そのほか、英語のネイティブスピーカーの先生による科目などもあり、コミュニケーションスキルの基礎を学ぶ、自然な英語を聞いて、発音できる力を身に付けるなど、基礎づくりが徹底されます。そして、1年生後期からは各自の専門分野に関連した内容の英語を学ぶことができます。

川越 やりたいこと、なりたい将来像は一人ひとり違います。各自の興味に合わせて学べる仕組みにすることで、自然と英語力は伸び、自信にも繋がりますね。TOEICの点数を上げる、英語を勉強しろ、というだけの英語教育は、学生にとって苦しいだけ。英語

学習ではモチベーションを高めてあげることが一番大切です。あの国へ留学したいとか、あそこ就職したいとか、目標が定まれば皆、一生懸命勉強するんです。新カリキュラムには英語を学びたくなるような様々な仕掛けを盛り込みます。

専門分野に関連する英語力とコミュニケーション力を育てる

寺嶋 モチベーションといえば、いいモデルケースがあります。フィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学で開催した研究発表会に環境・バイオサイエンス学科の学生が参加したのですが、彼女は「味噌汁の抗酸化性について」を堂々と英語で発表し、質疑応答もきちんと英語で行いました。自分の研究内容を相手に伝えることができ、相手の質問にも的確に答えることができた。これは環境・バイオサイエンス学科が望む、専門分野と結びついた英語力、コミュニケーション力、といえます。

さらに注目すべきなのは、彼女はもと英語が得意だったわけではなく、入学時のTOEIC点数は350点でしたが、1年生で英語の勉強をがんばり一気に500点を超え、2年生で

TOEIC PreparationやTOEFLの夏期講習等に参加して580点まで得点を上げました。つまり、きちんと勉強すれば英語力は上がる。「英語が話せると海外にも発表できる」ということを教えるだけで、ほんっと伸びる学生がいるわけです。共通英語教育を強化することで、今後このような事例が多くなると期待しています。

川越 こういう学生が多く出てきたらいいですね。彼女のようにモチベーションがあれば、従来の英語教育でもここまで出来る。ネイティブスピーカーのように話せなくても、英語を用い、伝えたい内容を伝えられることが重要なのです。文法の基礎、基本の単語と専門分野に必要な単語を学習すれば、十分この学生のようになれますよ。

何のために英語を学ぶのか

飯 川越先生は新1年生を受け持たれて間もないですが、学生達の印象はいかがですか？

川越 授業をする前は「最近の学生は私語が多い傾向だ」などと聞いていたのですが、今のところ学生達は非常にまじめです。今年の1年生がそうなのかもしれないですが、一生懸命勉強し、

留学生とのコミュニケーションや海外提携大学との遠隔授業など英語を生かした学びが広がる



宿題もきちんとしてきます。初回の授業で、なぜ英語を学ぶのか、英語を学ぶ楽しさについてとうとうと話したせいか、今日の単語テストでは30点満点で30点が5〜6人、25点以上が12〜13人もいて驚きました。

寺嶋 本学には結構、積極的な学生が多いですよ。私のワークショップでは「地域創りリーダー養成プログラム」の一環として、地域の方々に環境の話をしたりイベントを開催したりしています。2013年6月に韓国の梨花女子大学とワークショップを開く予定ですが、学生達に「その発表を英語でやってみるか？」と聞くと、単位が貰えるわけでもないのに4グループ中3グループがやると言います。英語が堪能でなくても自らの経験や考えを人に伝えたい、人の意見を聞きたいということが前提にある。これはコミュニケーションの基本であり、学生は導けば乗って来ます。そういった学生のために、さらにモチベーションが上がる新しいカリキュラムを作り、学科の専門の学びや副専攻制度へと結びつけて行くのが私達の役割でもあります。

川越 何のために英語を学ぶのか、目標を見つければ楽しくなる。最初は「海外旅行がしたい」でもいいんです。税関を通ったり、ショッピングをしたり、旅先で友達を作ったり。それに必要な英語を覚えるだけで旅行が何倍も楽しくなります。

自分を客観的に見ることも大切。『共感性』あるいは『国際理解の精神』など、神戸女学院が大切にしてきた方向性を、英語教育を充実させることで一層明確にできればと思います。



英語教育のモデル校となつて

寺嶋 新カリキュラム運用開始までに、テキスト内容の検討はもちろん、非常勤講師の先生方に対する授業方法の説明など、教える側のことも考えていかなければなりません。現行のシステムもありますし、英文学科の先生方の意見も伺ってすり合わせていきたいと思います。



ミッションステートメントとして『共感性の高い人格を養うわけですから、外に目を向け、自分で感じ、行動できる女性を育てなくてはなりません。そのために英語が必要なのです。』

のように活躍の場が広がり、どのような職種、立場であつても英語を使う可能性があると、いうことを具体的に示していきたいと思っています。

オーダーメイドの学びとは

川越 ところで、神戸女学院は1875年にアメリカ人宣教師のイライザ・タルカットとジュリア・ダッドレーにより創立されましたが、資料によると当時の学生数は26名。ちょうど今のクラスと同じ位の人数なんです。少人数制という創立当初の形を続けているというのは本学の特長であり、学生にとって大きなメリットではないでしょうか。語学学習は人数が少なれば少ない程いい。その人に合わせた教育が可能となります。新しい共通英語教育では、さらにごく少人数で行う特別選抜クラスが設けられ、一人ひとりのレベルや興味に合わせて柔軟に授業が組み立てられます。いわばオー

ダーメイドの学び。これも他大学にはない試みですね。

寺嶋 特別選抜クラスでは、入学時から高い英語能力を身に付けている学生に対し、共通英語の授業を免除し、海外の大学院進学などを目標にするプログラム・English Honors Programを進めていきます。例えば1年生の時点でTOEIC800点の学生がいて、英語ではなく声楽の勉強をしたい場合、海外の声楽専門課程に一般入学することを目的とするプログラムを組み、その学生に合った題材を使って英語教育を進めるのです。英語で討論するなどのプレゼンテーション演習から、海外の大学生が学んでいるテキストや基本文献を精読するといった内容が考えられます。

飯 自分の興味ある分野を学びながら英語運用能力を伸ばすことで、将来自分を活かす力が身に付きますね。これほどのような状況にある学生にもあて

い試み。皆さんの意見を聞きつつ構築し、神戸女学院大学でモデルを作つて、成果事例を学外に発表していければと思います。

寺嶋 英語教育について研究し、社会に提言していくことは、共通英語教育研究センターの役割だと理解していま

新しい共通英語教育では、さらにごく少人数で行う特別選抜クラスが設けられ、一人ひとりのレベルや興味に合わせて柔軟に授業が組み立てられます。いわばオーダーメイドの学び。これも他大学にはない試みですね。

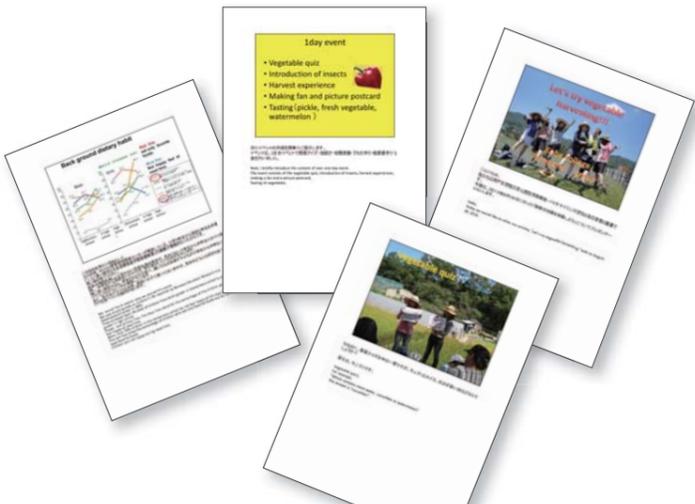
がることを願います。

す。ミッションステートメントとして『共感性の高い人格を養うわけですから、外に目を向け、自分で感じ、行動できる女性を育てなくてはなりません。そのために英語が必要なのです。』

川越 共感性が高いということは、自分の考えはしっかり持ちつつ、異なる考えも認められるということ。Googleひとつとっても日本語でキーワードを入れるのと英語で入れるのでは、情報量が何倍も違ってきます。いろいろな人の考え方を認められる心豊かな女性になるためには、やはり英語を学び、世界を知ることが大切だと思います。

飯 その通りです。そして、自分を客観的に見ることも大切。『共感性』あるいは『国際理解の精神』など、神戸女学院が大切にしてきた方向性を、英語教育を充実させることで一層明確にできればと思います。それが単なる自己主張に終わるのでなく、自分自身を客観的に見つめる自己相対化の視点にも繋がることを願います。

はまることであり、小規模大学ならではの一人ひとりに目の届く教育が可能となります。



- 飯 謙(いひ・けん) 神戸女学院大学学長。同志社大学神学部、同大学院、スイス・バーゼル大学神学部で学ぶ。専攻は旧約聖書学。博士(神学)。83年に神戸女学院大学助手となり、講師、助教授を経て95年文学部教授、2009年から学長。また、96年から神戸女学院チャプレンを務める。『聖書学の方法と諸問題』『旧約詩編の文獻学的研究』『旧約聖書と様式史』『ヨブ記』などの著書がある。
- 寺嶋 正明(てらしま・まさあき) 神戸女学院大学 共通英語教育研究センター長、人間科学部教授。京都大学工学部、同大学院に学ぶ。専攻は化学工学。工学博士。83年に京都大学工学部助手となる。97年に大阪府立大学工学部講師となり、助教授を経て、2003年神戸女学院大学人間科学部教授。2006年から人間科学部長、2009年から2012年まで教務部長。共通英語教育改革に参画。研究分野は食品分子機能科学で、抗酸化性評価法、鶏肉由来ACE阻害ペプチドに関する研究論文を発表している。
- 川越 栄子(かわごえ・えいこ) 神戸女学院大学 共通英語教育研究センター教授。神戸女学院高等学部・大学・大学院に学ぶ。大阪大学・神戸大学をはじめ10の国公私立大学で英語教育を行う。ESP(特定目的の英語)教育を研究し、2012年度までは主に医療系の英語教育を専門に、約10年間科学研究費を受けて医学部の英語教育を研究し、大学入試センター問題作成にも関わる。著書に『Travelers' First Aid Kit—海外で病気、けがをしたときのひとりの一言』(単著)、『神戸地域学—神戸の魅力再発見』(編著)、『実践的時事英語 医療版—ザ・デイリー・ヨミナリを読む』(共著)、『耳から学ぶ楽しいナース英語』(共著)などがある。

人間が生まれ持つ 言語運用能力を解明する

●心理言語学における言語の役割とは



●文学部 英文学科
松尾 歩 教授 — MATSUO Ayumi

人間は、生まれ持つ脳内の仕組みにより、どのようにして言語を習得するのか？ また、その仕組みは第2言語を習得する際、どのように機能するのか？— 20年間の海外生活を経て、母校である神戸学院大学に赴任し、子どもの母語と外国語の習得やバイリンガルについてなど、言語に纏わる普遍的な事象を様々な切り口で研究している松尾歩先生に話を伺った。

普遍的な言語能力に迫る

——まず、心理言語学に興味を持った理由を教えてください。

松尾 私は過去を調べるのが好きではなく、今、起こっている事象に面白さを感じます。心理言語学は今、実際に話している言語について研究することができ、生きた実験データも集められます。人と接することが好きということもあり、もともと専攻していた理論言語学から自然と興味移って、現在は、特に子どもが生まれ持つている能力、発達と認知などに着目しています。

——それが昨年発表された学術論文『日本の2歳児は動詞の意味を習得するために、形態統語論を使う』ですね。

松尾 はい。この研究では「ルッチェル」『チモッテル』『ヘキッテル』などの新しい動詞を用い、2歳児が目的語の有無によって動詞の意味の違いを正しく理解できるのかを実験しました。

方法としては、まず映像にあひるとうさぎの着ぐるみを登場させ、「あひるさんがうさぎさんをルッチェルよ」などの音声と共に、あひるがうさぎに触れながら、片羽を広げるシーンを子ども達に繰り返し見せます。その後、あひるがうさぎに触れる、あひるが片羽を広げるの2シーンを同時に映し、「ルッチェルのどっちかな？」と尋ね、この時の子どもの目の動きを分析します。すると、「あひるさんがうさぎさんをルッチェルよ」という他動詞の文脈

で映像を見た子ども達は、ルッチェル「あひるがうさぎに対し、何かアクションしている」という意味だと思っただけでいることがわかりました。一方、「あひるさんがルッチェルよ」という自動詞の文脈で映像を見た子ども達は、ルッチェル「あひるが片羽を広げるアクションだ」と思っただけでいることがわかりました。

——同じ映像を見ても、文脈によって異なる解釈をするのですか？

松尾 文の形によって動詞の意味を習得することを「統語立ち上げ論」と言いますが、この実験から2歳児は統語立ち上げ論を知っているという結果を得ました。また、アメリカでも英語を習得する子どもに対して同様の研究が行われ、同じ結果が出ていることから、言語の違いは関係ないこともわかりました。

2歳児が、1〜2年間で学ばないような事象を知っていたら、それは生まれ持つて知っているということ。学習したのではないということの実証は難しいですが、子どもは目的語の有無によって動詞を解釈する仕組みを生まれ持つてしていると結論づけたいですね。

——この研究の更なる進展は？

松尾 現在は、「あひるさんうさぎさんルッチェルよ」という格助詞のない文脈を用いて実験中です。さらに、「うさぎさんをあひるさんがルッチェルよ」というように語順を変えて、あひるが動作主ということがわかるのかも調べてみたいと思います。

バイリンガルと認知の発達

——言語にはどのような役割があると考えられますか？

松尾 その答えは、2010年の研究発表『バイリンガリズムは子どもの会話の理解を深めているか？』にあります。

す。この研究では、会話の公理とされる量、質、関連性、作法に対し、左図のような質問をして、日本語と英語を学ぶバイリンガルの子どもと日本語だけを学ぶモノリンガルの子どもどちらが正しい答え方をするのかを調査しました。

▼ 4つの公理に対する質問と回答例

1. 量の公理

- Q. あなたはどの動物が好き？
A. 私は犬が好きよ
A. 私は犬が好きで、その犬にはしっぽがあつてね、…

2. 質の公理

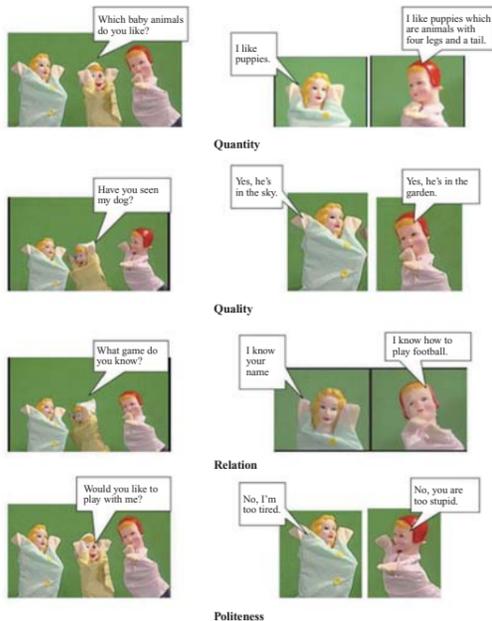
- Q. 私の犬、どこに行ったか知ってる？
A. 庭にいたわよ
A. 空に飛んでいったわ

3. 関連性の公理

- Q. どんなスポーツのルールを知ってる？
A. 私はサッカーのルールを知っているわよ
A. 私はあなたの名前を知っているわよ

4. 尊敬の公理

- Q. 私と一緒に遊ばない？
A. ちょっと疲れているから遊べないわ
A. あなたは馬鹿だから遊ばないわ





環境から教わっていないのに一致する普遍的な事象を追求できることが、言語学の魅力だと思えます。

統計の結果、4つの公理全てにおいてバイリンガルの子どもが勝っていることがわかりました。スウェーデンでは言語運用能力に加え、記憶力や計算能力についての研究もなされており、やはりバイリンガルの子どもが勝っているという結果が出ています。2言語以上に晒されている子は発達やその他の事象を助けていると言えるでしょう。

「これから挑戦したい研究テーマは？」
松尾 「外国に長期滞在している人の母国語の変化について」です。私は6年間イギリスに住んでいましたが、その時の日本人の友達と話していると、長期滞在している人ほど日本語がおかしい。それってどこがおかしいんだろう？どこから退化していくんだろう？今度、研究させて貰おう！と笑。また、日本人は会話をする際に主語を省きがちですが、長期滞在の日本人は「私」あなた」などの代名詞を多く使います。恐らく英語の影響があり、これも興味深いです。

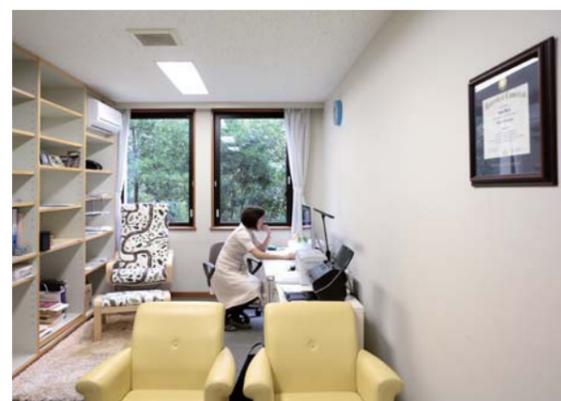
「今後の展望をお聞かせください。」
松尾 学生にも言語学の研究の面白さを伝えていきたいと思えます。大学時代、ゼミでお世話になった上紀子先生は私のロールモデルでした。先生のようになりたくて、大学の先生になりたい。しかも、できることなら神戸女学院大学で、というのが私の夢でした。その夢が叶った今、今度は私が学生達のロールモデルになることができたらと思えます。

■松尾 歩(まつお あゆみ)
1969年生まれ。言語学博士。神戸女学院大学文学部英文学科卒業。大学在学中にロータリー財団奨学生として、米国ウィスコンシン州立大学に留学。卒業後、コネチカット州立大学修士号、博士号を取得。その後、マックスプランク心理言語学研究所(オランダ)、オタワ大学(カナダ)客員教授、シェフィールド大学(英国)准教授など20年の海外生活を経て、2010年4月から神戸女学院大学に着任。専門は第1・第2言語習得、バイリンガリズム、心理言語学、統語論。最近の論文は、2010年に"Bilingualism accentuates children's conversational understanding" PLoS one, 5-2, pp.1-8.、2012年に"Japanese two-year-olds use morphosyntax to learn verb meanings" Journal of Child Language, 39-3, pp.637-667. など。現在、3人の子どもを持つ母親。

「研究の題材は、身近なところから発見できるのですか。」
松尾 人との会話の中から研究の題材を思いつくことは多いです。レストランでもついで、周囲の人の方言などに耳を澄ませてしまいます。方言と言えは、私の主人は北アイルランド人ですが、彼の英語はこの訛りなのか掴みどころがなく、皆から必ず出身を聞かれます。教えずに話し続け、最後に出身をばらすと、頭をひねっていた人達は「そつそつ」と納得します。わかると方言がどんどん耳に飛び込んでくるようです。そういうことも研究の題材になりますよ。

「言語学の魅力とは何でしょう？」
松尾 尊敬するアメリカの言語学者ノーム・チョムスキー氏の考え方で、

「英語学の魅力とは何でしょう？」
松尾 尊敬するアメリカの言語学者ノーム・チョムスキー氏の考え方で、



「はじめての海外出張・留学・赴任で使える英会話フレーズブック」明日香出版社 松尾歩著

松尾先生がイギリスで教鞭を執っていた際、日本人駐在員から英語やイギリスの文化について様々な質問を受けてレクチャーした内容を集約。20年間の海外生活の集大成とも言える一冊です。

“その人らしい生活”を 叶えるために

—患者と取り巻く人々の架け橋となって—

●精神保健福祉士

松村 雅 さん—— MATSUMURA Miyabi

ストレス社会、高齢化社会といわれる現代は、心の病にかかる人が増えている。精神保健福祉士とは、こうした人々の生活問題を解決するための援助を行い、社会参加や人権擁護を支援するソーシャルワーカーだ。精神保健福祉士として小阪病院の相談室に入職し、患者とご家族、院内スタッフ、地域の施設や医療機関などの架け橋となるべく日々奔走している松村雅さんに話を伺った。

Quality of Life



■松村 雅(まつむら・みやび)
2007年 文学部 総合文化学科卒業。在学中に精神保健福祉士養成課程を経て国家資格を取得。2007年 社会福祉法人天心会 小阪病院 相談室に入職。療養病棟、認知症治療病棟担当を経て、現在は急性期治療病棟を担当。

格を取りたいと思った。入学後は迷わず岩田先生の基礎ゼミに所属。実習では地域生活支援センターや病院に入り、週数日はボランティアで支援センターにも通った。「病院での生活や退院後の実体験、病気をもちつつ生活すること——精神障害者の方から直接お話を聞き、精神保健福祉士の働く姿を間近に見たことが、この仕事に就く決め手になりました。とても大事な仕事だと思っただけです」。

●関わる人々を繋ぐ架け橋として

現在、松村さんは統合失調症などで集中的な治療を要する人が入院する急性期治療病棟を担当し、約60人の患者を受け持つ。その業務内容は幅広く、患者の生活全般に関わるという。患者から話を聞き、その人の退院に向けてカンファレンスに参加。退院後に入所する施設の見学やヘルパーの手配、面接に同席することもある。また、入院前の患者やそのご家族と面談をし、障害年金や介護保険サービスなどの情報を案内する。「あらゆる連絡において、架け橋となるのが私達の仕事。ご家族と医師の意思疎通といった内部連絡はもちろん、患者様に代わって外部関係者とやりとりし、情報をお伝えします。私達が情報を多く持つていければいいほど、患者様とご家族の選択肢は増え、退院後の生活をよりよいものにできると思うんです」。入職当初は、何でも知っていて相談に乗れなくては、と焦

●“その人らしい生活”を支援

「医療業界では病を治すことに重きをおきますが、精神保健福祉士の場合は“生活”に視点を置きます」——松村さんがこの言葉を聞いたのは、神戸女学院大学のオープンキャンパスで開講された岩田泰夫先生による模擬講義。それまでの自分にはない“生活”への視点に新鮮さを感じ、精神保健福祉士の資

「常に勉強しないとなあと思います。でも、知らないこともあって当然で、一緒に成長すればいいんだと思うようになりました」

りがあったという。しかし、経験を重ね、自分が患者やそのご家族を一方的に支援しているのではなく、お互い支え合っていることに気付いた。「常に勉強しないとなあと思います。でも、知らないこともあって当然で、一緒に成長すればいいんだと思うようになりました」。

●“ゴールのない仕事”

「この仕事で難しいのは患者様が退院したら終わり、ではないことです。内科的な病気とは違い、精神障害は一生抱えながら生活していかなければならない病気。なかには50年以上入院している人もおり、早期に退院しても数年後にふつと相談に訪れる人も少なくない。そのため、患者との関わりに終わりが無いのだという。それでも、様々な苦労を共に乗り越えた人が無事に退院し、「松村さんが担当でよかった」と言ってくれたり、退院後に近況報告をしに来てくれると、本当に嬉しくて、やっていてよかったと思えるのだ」。

●話を聴き、言葉に責任を持つ

松村さんが仕事をする上で大切にしている言葉が二つある。一つは「ただ聞くのではなく、聴く姿勢が大切」。

大学時代、岩田先生に言われた言葉だ。忙しいことを理由にせず、その人が何を思っているのか、じっくりと話を聴く。一緒に整理していく作業に根気強く付き合ひ、互いに支え合いながら大きくなっていくと決めている。もう一つは「患者様やご家族との面談を終える時、「何かあったらまたいつでも相談にお越しください」と言うけれど、本当にいつ来て貰っても大丈夫という覚悟が必要。こちらは、ボランティアに通った施設長の言葉だ。言われた時、自分の言葉に責任を持たなければと、身が引き締まる思いをしたという。そのせいもあってか、松村さんは何事も納得するまでとことんやってしまう。結果、残業となり上司から注意されることも。「時間内で要領よく仕事をすることがあるんじゃないかと思うと、やらずにはいられない。岩田先生に相談したら、「それが自分のやり方やから、もうそれでやっていけばいいんじゃないか?」と言われ、それもそうだなと(笑)。これからも、可能な限り全力投球していくでしょうね」。

人の人生に関わることへの責任は重い。しかし、覚悟を決めてやっている仕事だからこそ、やりがいもある。





ラーニング・commons開設記念 学びの拠点を図書館に

平成24年度 文部科学省・私立大学教育研究活性化設備整備事業
「リベラルアーツ教育の基盤となる主体的な学習を支援する場の整備」



●図書館課長 石村 真紀さん ●図書館長 小松 秀雄 教授

今年4月1日、神戸女学院の図書館新館の約445㎡に共同学習スペース、ラーニング・commons(以下LC)が開設された。リベラルアーツ教育の更なる充実を図り、資料や情報検索機器を備えたLC環境を整備し、図書館に“学生の主体的な学びの拠点”を置くのが狙いだ。これにより図書館全館に無線LANが整備され、新館にグループでの利用が可能なフリーエリア、5～6人でディスカッションが行えるスペースが設けられ、グループ学習室にはビデオ会議システムが導入された。また、新館ではプロジェクト、本館ではタブレット端末の貸出しも開始。従来の図書館機能に加え、館内資料やインターネットを使っての共同学習が可能となった。LCの特長や活用法について、小松図書館長と石村図書館課長に話を伺った。

LC開設の背景をお聞かせください。
小松 予てより、図書館職員から学生に対し「もっと図書館に足を運んで欲しい」という強い要望が寄せられていました。また現在、整備を進めている新しいリベラルアーツ教育の仕組みを有効に機能させるには学生が主体的にグループ学習する場を設けることが必要であり、それには豊富な教育資料を所蔵する図書館が最適と思われまます。私立大学図書館協会でも、多くの大学が新しいICT(情報通信技術)時代のオープン教育を実現するためのLCについて報告しており、本学も文部科学省・私立大学教育研究活性化設備整備事業の採択を機に開設へと至りました。
石村 図書館は媒体を問わず様々な情報の集まる場所であり、学生の主体的な学びの拠点を、図書館に置くことにより、学生がそれらを十分に活用できるという利点があります。
—— 本学のLCの特長は？
小松 人数に応じて自由にレイアウトできる可動式テーブルの導入に加え、ホワイトボードやプロジェクト、パソコンの貸出しにより、10数人での授業やグループ学習に利用できます。無線LANも整備されており、本学の大きな特色である、少人数制のゼミ教育に最適な場と言えるでしょう。
石村 これまで学生は空き教室やラウンジなどでディスカッションや資料づくりを行っており、図書館はひとり

利用する場所でした。LCは会話をしてもよいスペースなので、レポートの共同制作はもちろん、パソコンからスクリーンに映像を映してのプレゼンテーション練習やディベートもできます。課題に対してグループで取り組みやすいのは大きなメリット。さらに、カウンターには大学院生や大学院修士のスタッフがおり、資料の探し方やレポート作成のアドバイスなど、サポートもしてくれます。
小松 このように、教育面でのさまざまな取り組みに利用できる施設の設置は初めてであり、大いに期待が寄せられるところですね。
—— どのように利用して欲しいですか？
石村 自主学習はもちろんですが、例えば、教職課程履修者が模擬授業の練習に利用したり、総合文化学科のプロジェクト科目の準備をしたり、文学部



〈新館1階・カウンター〉目に留まりやすいように柱にカウンターを設け、新着図書などを展示
〈新館4階・グループ学習室〉グループ学習室には遠隔ビデオ会議システムが導入され、海外の提携校とのディスカッションなどが可能に
〈新館地下1階・和洋学術雑誌コーナー〉新着学術雑誌は表面を見せて展示することで、手に取りやすくしている



● 図書館ガイダンスを受けた新入生の声

- 「とっても快適そう！先達達を見ていたら、喜んで利用されているのが伝わってきました」
- 「LCで自習をすれば、わからないことをすぐサポートカウンターに質問できるのていいですね」
- 「ビデオ会議ができるって聞いたので、有意義に使えるかなと思いました」
- 「私は英文学科なので、とっても高価だけど原書を読みたい。図書館に置いてあって嬉しいです」



〈新館1階・フリーエリア(ガイダンスの風景)〉フリーエリアを使用して行われた新入生の図書館ガイダンス

● 図書館新館

4F	閲覧室	開架書庫	グループ学習室
3F	閲覧室	開架書庫	
2F	閲覧室	開架書庫	
1F	カウンター	ラーニング・commons 1F	
B1F	書庫	ラーニング・commons B1F	
B2F		書庫	

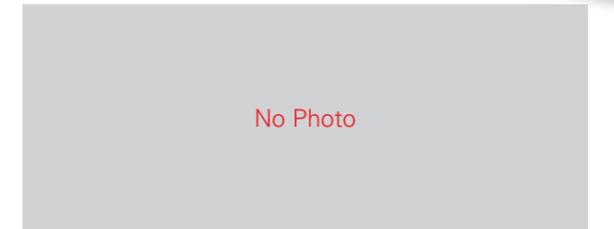
「iLib」(アイリブ)
LCのニックネームが決定！
LC開設に伴ってニックネームが公募され、教職員や学生から、新しいスペースに期待を寄せる17点の応募がありました。呼びやすく汎用性があり、図書館内の学習スペースであるLCにふさわしいとして選ばれた愛称は、iLib(アイリブ)。iは“私”を意味するアイ(=I)、人との“出会い”・知との“出会い”のアイ、Libは図書館(=Library)を表しています。

主催講演会の準備などにも活用できるのではないのでしょうか。
小松 LCにも遠隔ビデオ会議システムが導入されたことにより、通訳・翻訳プログラムや音楽学部の3大学連携プログラム、大学院人間科学研究科のESDプログラムなどの受講生は、授業時間に国内外の連携先と交流や意見交換が行えます。以前から講義室には同様のシステムが設置されており、音楽学部の3大学連携プログラムなど大いに利用され教育効果もあげています。LCへの導入成果も期待できるでしょう。
—— 今後の展望は？
石村 LCは、主体的な学びの場ですが、学生に能動的な学習を求めているのはなかなか難しいという昨今の現状もあります。まずは「図書館に行けばさまざまなことができる」ということを学生に早く浸透させたいですね。また、図書館で以前から行ってきた活動を、LCの利用によりさらに学生が参加し

やすいものに工夫したり、キャリアセンターのセミナーや留学生との交流など、大学の他の事務部門にも利用してもらえよう積極的に働きかけたりして、最終的には図書館が学生のための新しい学びの場「プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を高め、いくつ場を提供できるようにすること」が目標です。
また、従来の図書館には禁止事項が多かったのですが、この度、一部ドリンクの持ち込みを可能にしたように、学生にこれもいいよ、こんなこともできるよ、と言ってあげられる前向きな場所になればと思います。
小松 学生にはLCを拠点に、自らが問題意識を持って主体的、多角的に問題に関連する資料を探索し、協力して一つの結論を導き出すことの喜びを体感して欲しいです。また、授業にどれだけ図書館を有効活用できるのか、教員方にも期待しています。アイデアや要望もどんどん聞かせて欲しいですね。



●キャリアサポーター制度 学生が企画する、 実践さながらの就活支援講座



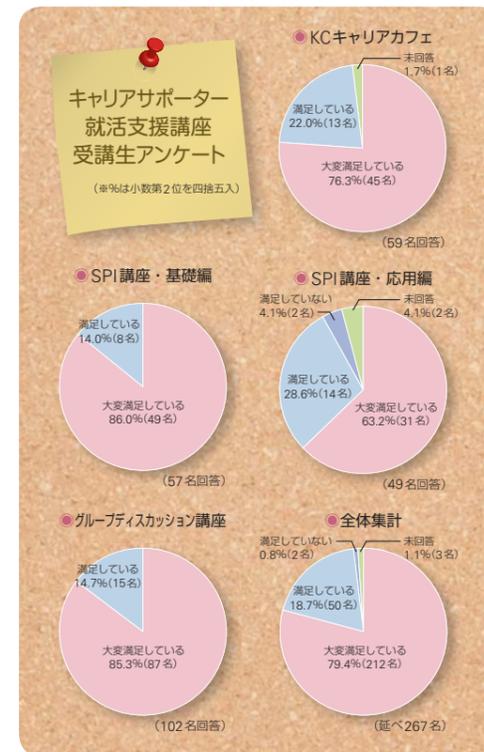
2011年に発足した『キャリアサポーター』制度は、4年生の内定者がサポーターとして登録し、就職活動を始める3年生に対して様々な支援を行うもの。2012年は、先輩サポーターから支援を受けた内定者3名が“今度は自分たちが先輩の恩に報いる番”という想いから、『サポートリーダー』として3つの講座の企画・運営をすべて行った。その活動を見守ってきたキャリアセンターの樽本課長、サポートリーダーとして後輩を支援した文学部の佐々木さん、松井さん、人間科学部の三宮さんに話を聞いた。



●キャリアセンター 課長
樽本 裕見子 さん

就活はチームで。先輩から後輩へと支援のバトンをつないでいって欲しい。

キャリアサポーター制度は内定した4年生が就活を迎える後輩の不安を払拭しようと、自主的に登録し支援するものです。2011年に制度化し、サポーターの企画で初めて『グループディスカッション(GD)講座』を行いました。2012年は、前年から引き続き『GD講座』に加え、新たに『KCキャリアカフェ』と『適性試験(SPI)対策講座』を実施。全てサポートリーダーが企画・運営し、受講



▼サポートリーダーに聞く

- 文学部 英文学科 4年生 (ダイキン工業株式会社 内定) 佐々木 さん
- 文学部 英文学科 4年生 (丸紅株式会社 内定) 松井 さん
- 人間科学部 心理・行動科学科 4年生 (株式会社アビステ 内定) 三宮 さん (学年は取材当時)

各講座の内容、工夫した点について聞かせてください。

三宮 準備は、佐々木さんが『KCキャリアカフェ』、松井さんが『SPI対策講座』、私が『GD講座』と、3人で分担しました。

佐々木 第1弾として開催したのが11月中旬からの『KCキャリアカフェ』です。アットホームな雰囲気になった少人数制の座談会形式にし、様々な業界や職種に内定を得たサポーター達を呼んで、後輩との交流を図りました。行動に移していない3年生のきっかけ作りになるよう、先輩と連絡先を交換する時間を設け、相談できる関係作りもしました。



松井 11月下旬からは『SPI対策講座』を開始しました。私はSPI対策を2月から取り掛かって苦労したので、後輩には1月までに1冊マスターして貰えるよう問題を準備。講座は入門編と応用編に分け、サポーター1人に対して3年生4人体制で、協力し合って問題を解くようにしました。入門編は和やかな雰囲気、SPIに対する苦手意識を取り除き、気軽に取り組んで貰えるようにしました。一方、応用編は実践問題をテストする厳しい雰囲気になりました。

三宮 12月中旬には『GD講座』を開催しました。3年生に実践の場を体験して貰いたかったので、サポーターを面接官役にし、実際に企業が出题したテーマを使ってディスカッションして貰いました。

佐々木 緊張感を持ってもらえるよう、ストップウォッチでプレゼンの時間管理をしました。今年は服装自由でしたが、本番の空気を出すために来年以降は、スーツ着用にした方が良くもありません。

松井 厳しめにやるのが大切だと感じていましたが、一方で3年生が悩み

や苦労を気軽に打ち明けられるよう、メリハリを付けました。

苦勞した点は？

佐々木 KCキャリアカフェは昼休みを利用したため、時間が短かったです。参加者には、できるだけ複数の業種を知って貰いたかったので、前半・後半の2交代制にしたり、工夫するのが大変でした。

松井 SPIは模範解答をコピーして配付しようと思っていたのですが、SPI初心者も3年生にも対応するため、手書きの解説を別で作成しました。それを7日間続けたら、眼の下にクマができて(笑)。今後はレベル別にグループを分けるなど、もっと工夫して



サポーターが面接官役になり、実際に企業が出题したテーマを使ってディスカッションを行った [GD講座]



様々な業界や職種に内定を得たサポーターと後輩との交流を図った [KCキャリアカフェ]



本番を迎える就活生にメッセージを。

佐々木 納得できる道へ進むためにはGDやSPIの対策も必要。就活には正解がありません。失敗したと思ってもプラス思考で反省し、自分を変えられるよう行動してください。

松井 もう一度、深く自己分析をしてください。面接もコミュニケーションです。型にはまったことを言うのではなく、会話のキャッチボールができるようになってください。

三宮 就活することが全てではありません。就活前に自分の将来像を描くことがひとつの大きな山だと思います。選考が本格化する時期には、他大学の学生の上手なプレゼンを手本にしたり、一緒にGDをやってみるなど他大学との交流も必要です。

充実したキャンパスライフを送るために

●学生支援ネットワーク主催・新入生キャンパスツアー

4月9日、神戸女学院大学では新入生を対象とするキャンパスツアーが行われた。昨年度から始まったこのツアーは、新入生に早くキャンパスに親しんでもらい、学生生活を送るうえで必要な情報を覚えてもらうことに加え、縦横の友人作りの手助けを目的とする。当日は上級生である学生サポーターが案内役となり、1グループ約15名の新入生を連れて構内を一巡。建物の説明をはじめ、掲示板やAEDの設置場所、お昼ご飯の購入場所、休憩スペース等の紹介、さらには楽しい雑談を交えた案内に、新入生達の緊張もすぐに解け、盛り上がりながらの散策となった。昨年に続き、今年も案内役として参加した松尾さんと岸本さんに話を聞いた。



No Photo

●人間科学部 環境・バイオサイエンス学科 3年生 松尾さん

●人間科学部 心理・行動科学科 3年生 岸本さん



松尾 リラックスして案内できました。新入生だけでなく、同じスタッフとして他学部の子や先輩と知り合えたのもよかったです。新入生には「4年間はでしたか？」

岸本 私達は寮生なので、寮の先生からお誘いを受けました。自宅生や下宿生は先輩後輩の繋がりを持つ機会が少なくないので、そのきっかけ作りになればと思って参加しました。

松尾 昨年やってみて楽しかったし、その時に担当した新入生達が後から話にきてくれて嬉しかったので、今年もやろうと思いました。

案内役に応募したきっかけは？
松尾 寮生なので、寮の先生からお誘いを受けました。自宅生や下宿生は先輩後輩の繋がりを持つ機会が少なくないので、そのきっかけ作りになればと思って参加しました。

●新入生の声

- 「楽しかったです。エミリー・ブラウン記念館前の芝生がとても綺麗でした」
- 「大学のWEBで見た図書館の天井梁のアラベスク調の文様を実際に見ることができて感動！柱の装飾も素敵でした」
- 「シェイクスピア・ガーデンに猫がいて可愛かった」
- 「案内してくれた先輩がすごく優しくかったです。お酒落な大学だから、通うのが楽しみ」
- 「学内で買えるプリンが安くてびっくりした」

松尾 部活に専念するのもいいし、部活に入らなくても私達や先輩に質問さえしてくれば何でも教えます。知りたい事を学べるのが大学です。時間を大切に、自分の強みを見つけてください。

岸本 とても綺麗なキャンパスなので、いろいろ散策して自分が寛げる場所を見つけて欲しいです。あと、大学では自己管理が必要な場面が増えます。最初は不安かもしれませんが、自ら動けば周りの人が応えてくれるのが神戸女学院。私も職員の方や先輩からいろんな事を教わりました。やりたい事や困っている事があれば、どんどん聞いてください！

あつという間。やりたい事をどんどんしておいた方がいいよ」と伝えました。
岸本 昨年担当した新入生がスタッフになっていて嬉しかったです。話す内容は決まらず、その場で思いついた他愛ない話や豆知識的な話をしました。その方が緊張しないで自由に話せるので。
新入生に学生生活のアドバイスを。
岸本 とても綺麗なキャンパスなので、いろいろ散策して自分が寛げる場所を見つけて欲しいです。あと、大学では自己管理が必要な場面が増えます。最初は不安かもしれませんが、自ら動けば周りの人が応えてくれるのが神戸女学院。私も職員の方や先輩からいろんな事を教わりました。やりたい事や困っている事があれば、どんどん聞いてください！

●“大島初枝記念賞”受賞者インタビュー 自分の目で見て、肌で感じて、“受け入れる”

神戸女学院大学の卒業生であり、学校法人最初の理事を務められた大島初枝氏の志を国際ボランティア活動推進のために活用した“大島初枝記念賞”。1999年より続くこの賞は、年1回、ボランティア・サポート委員会による応募書類の選考、推薦を通して2名の学生に授与される。2012年の受賞者の一人、英文学科3年生の定森さんは、同年3月、インド・コルカタにある施設「マザーハウス」で7泊9日のボランティア活動を体験。その内容やボランティアに対する考えについて話を聞いた。



▲授与された「大島初枝記念賞」の賞状

No Photo

●文学部 英文学科 3年生 定森さん (学年は取材当時)

自分の目で見てみたい。肌で感じたい。そう思って、コルカタにあるマザー・テレサの活動拠点「マザーハウス」でのボランティアに参加しました。ここでは、世界中から集まったボランティアが市内にある6つの施設を訪れて活動しています。大抵は希望の施設に行くことができ、活動内容は食事や排泄の世話、掃除、洗濯など様々。私はなるべく多くの施設への理解を深めたかったので、「シシユバワン」(子ども

の家の意。多くが10歳に満たない孤児たちの施設を起点に、「ニルマルヒルダイ」(通称「死を待つ人の家」)・結核・肝炎など貧しく瀕死の状態にいる患者の施設や「ナボジボン」(マザーハウスのブラザーの家)などを訪れました。

奏でるなど楽しんでもらえる工夫をしてみました。まだ10歳の女の子が食事の食べさせ方やおむつの替え方なども教えてくれて頼もしかったです。やり方は何でも大胆。でもそれは国の文化です。私は受け入れてもらっているのだから、その国らしさを理解し、尊重しました。

「難しいことは考えず、ただ目の前の人に愛情を注げばいい」



子供達との「また来るね」という約束に嘘はつきたくないの、必ずまた会いに行きます。
思い返すと、してもらったことの多さに心が温まります。言葉が通じなく、悔しい想いもしましたが、日本語で一生懸命話しかけたら、優しく手を撫でてくれたおばあさんとも出会いました。情熱は伝わる、心を通わせればいいんだと気付きました。ストーリーテールドレンも過酷な環境に置かれているのに、みんな無邪気でもっとも元気。教わることばかりで、元氣や愛情をいっぱい貰いました。
卒業後も仕事をしながら、どんな形でもいいので、ボランティアは続けようと思います。中学生の頃からやっている街の清掃や老人ホームでの活動も続けていきたいです。就職活動が終わったら、バンガラデシユにボランティアに行く予定です。
ボランティアって、自分を犠牲にして行うものではないと思うんです。楽しみながら喜んで取り組むのが一番です。自然に行動したことが、振り返ると「あれってボランティアだったんだ」と思うくらいが私にはちょうどいい。ボランティアだけでなく、現地で観光などを楽しむ気持ちも大事だと思います。遊びがあると、また違った視点で物事を見ることができ、視野も広がると思います。



講演会・公開講座・コンサートなど

初夏の公開講座2013

- ことばとリズム
第1回「ケータイ短歌と介護百人一首—「和歌」から「短歌」へ—」
日 時：6月8日(土)10:00~11:30
講 師：安森 敏隆氏(同志社女子大学 名誉教授)
第2回「日本語とリズム」
日 時：6月22日(土)10:00~11:30
講 師：建石 始(神戸女学院大学総合文化学科 准教授)
第3回「英詩のリズム」
日 時：6月29日(土)10:00~11:30
講 師：和氣(直田) 節子(神戸女学院大学英文学科 教授)
場 所：神戸女学院大学メアリー・アンナ・ホルブルック記念館301教室
問い合わせ：広報室 TEL0798-51-8585

音楽学部演奏会・公演

- ペガにオーケストラがやってきた! Vol.4(サマーコンサート)
日 時：6月25日(火)18:30開演
場 所：宝塚ペガ・ホール
参加費用：前売り500円 当日600円
- オータムコンサート
日 時：10月2日(水)18:30開演予定
場 所：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
問い合わせ：音楽学部事務室 TEL0798-51-8550

アウトリーチ・センターイベント

- 子どものための七夕コンサート ~わたしらしくく くらしく~
日 時：7月6日(土)
第1部 11:00開演(10:30開場)年齢制限なし
第2部 15:00開演(14:30開場)小学生以上対象
場 所：神戸女学院講堂
出 演：「音楽によるアウトリーチ」履修生
参加費用：大人500円、子ども(19歳以下)300円 申し込み要
問い合わせ：音楽学部アウトリーチ・センター
TEL0798-51-8584 E-mail: concertfch@mail.kobe-c.ac.jp

心理相談室ウィーク

- 期間中、下記の通り無料相談と講演会を実施します。(いずれも無料)
- 無料相談(要予約)
日 時：7月30日(火)~8月5日(月)10:00~17:00(土日除く)
場 所：神戸女学院大学心理相談室
申し込み期間：7月8日(月)~7月19日(金)10:00~18:00(土日除く)
※在学中の方及びその保護者の方のお申し込みはご遠慮ください。
- 講演会(予約不要)
「「さすな」を考える ~おへそのイメージについての臨床心理学的アプローチを通して~」
日 時：7月31日(水)13:00~15:00
場 所：神戸女学院大学メアリー・アンナ・ホルブルック記念館3階301
講 師：鶴田 英也(神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科 准教授)
問い合わせ：神戸女学院大学大学院心理相談室 TEL0798-51-8554

金曜日公開プログラム

- ESD留学生研究発表会—ESD Girls: Improving Lives, Sustaining Future—
日 時：6月21日(金)10:35~11:25
- オルガンコンサート
日 時：6月28日(金)10:35~11:25
- デフォレスト先生70周年記念講演会
日 時：7月5日(金)10:35~11:25
- 礼拝
日 時：7月26日(金)、9月27日(金)10:35~11:25
場 所：神戸女学院講堂(但し、礼拝のみ神戸女学院ソールチャペル)
問い合わせ：チャブレン室 TEL0798-51-8502

ESD推進室主催イベント

- 地域創りリーダー養成プログラム 公開プレゼンテーション
日 時：8月3日(土)時間未定 オープンキャンパスと同時開催
場 所：神戸女学院大学メアリー・アンナ・ホルブルック記念館301教室
- ESDプログラム 第3期生修了発表会
日 時：9月9日(月)10:00~12:30(予定)
場 所：神戸女学院大学エミリー・ブラウン記念館101教室
問い合わせ：人間科学部ESD推進室 TEL/FAX0798-51-8591

研究所主催講演会

- 「プラトンの問題と先天的言語能力」
日 時：6月7日(金)10:35~11:25
講 師：栗栖 和孝(神戸女学院大学文学部英文学科 准教授)
場 所：神戸女学院講堂
問い合わせ：研究所 TEL0798-51-8544

女性学インスティテュート連続セミナー

- 「性を売る女、買う男」(要申し込み・無料)
第1回「聖書に登場する売春女性たち」
日 時：6月14日(金)14:00~15:30
講 師：中野 敬一(神戸女学院大学文学部総合文化学科 准教授)

- 第2回「売買春の日本近現代史」
日 時：6月21日(金)14:00~15:30
講 師：河西 秀哉(神戸女学院大学文学部総合文化学科 専任講師)
- 第3回「売春防止法と風俗営業法の共存」
日 時：6月28日(金)14:00~15:30
講 師：米田 眞澄(神戸女学院大学文学部総合文化学科 教授)
- 第4回「戦後日本の性風俗と売春防止法」
日 時：7月5日(金)14:00~15:30
講 師：景山 佳代子(神戸女学院大学文学部総合文化学科 専任講師)
場 所：神戸女学院大学ジュリア・ダッドレー記念館104教室
問い合わせ：女性学インスティテュート TEL0798-51-8545

高校生等参加イベント

- オープンキャンパス
日 時：6月22日(土)、9月16日(月・祝)10:30~15:00
8月3日(土)、4日(日)10:00~15:00
内 容：模擬講義、各種相談コーナー、キャンパスツアー 他
問い合わせ：入学センター TEL0798-51-8543
- 第4回絵本翻訳コンクールを実施します
神戸女学院大学では、高校生を対象とした「第4回絵本翻訳コンクール」を実施します。興味のある方は、本学ホームページをご覧ください。
問い合わせ先：広報室 TEL0798-51-8585
- 第8回高校教員対象 環境・バイオサイエンス実験講座
日 時：8月2日(金)
場 所：神戸女学院大学理学館 要申し込み 無料
- サイエンス体験(要申し込み・無料)
日 時：8月5日(月)、24日(土)
場 所：神戸女学院大学理学館もしくはメアリー・アンナ・ホルブルック記念館
- 理学館体験
日 時：6月22日(土)、9月16日(月・祝) オープンキャンパスと同日開催
場 所：神戸女学院大学理学館
問い合わせ・申し込み：人間科学部事務室
TEL0798-51-8553 E-mail: taiken@mail.kobe-c.ac.jp
- 音楽学部夏期講習会(要申し込み、詳細は音楽学部ホームページをご確認ください)
日 時：舞踊専攻 7月30日(火)、31日(水)
器楽、声楽、ミュージッククリエイション専攻 7月30日(火)~8月2日(金)
場 所：神戸女学院大学音楽学部
問い合わせ・申し込み：音楽学部事務室 TEL0798-51-8550

めぐみ会主催行事

めぐみ会公開講座

- 2013めぐみ講演会
「ハンサムに生きる—日本の元氣印・新島八重—」
日 時：7月5日(金)13:30~15:00
講 師：同志社大学神学部 元教授 本井 康博 氏
場 所：神戸女学院めぐみ会館
受講料：1,000円(学生は無料) ※要予約(HP可)
「ZEROからの出発 ~ニュース報道の世界~」
日 時：10月19日(土)13:30~15:00
講 師：関西学院大学大学院 教授・NEWS ZEROメインキャスター 村尾 信尚 氏
場 所：神戸女学院講堂
受講料：一般1,500円 学生1,000円 ※要予約(HP可)
- 2013アートセミナー
「源三頼政—武士として、歌人として—」
日 時：6月19日(水)11:00~12:30
講 師：神戸女学院大学総合文化学科 教授 藏中 さやか 氏
場 所：神戸女学院めぐみ会館
受講料：1,000円(学生は無料) ※要予約(HP可)
「向田邦子ワールドの魅力」(全2回)
日 時：9月4日(水)・9月18日(水) 各回11:00~12:30
講 師：園田学園女子大学名誉教授 吉村 稯 氏
場 所：神戸女学院めぐみ会館
受講料：各回1,000円(学生は無料) ※要予約(HP可)
申し込み・問い合わせ：公益社団法人神戸女学院教育文化振興めぐみ会
TEL0798-51-3545 URL: http://www.megumikai.or.jp/

特別展「関西学院の美術家~知られざる神戸モダニズム~」

日時：7月20日(土)~10月6日(日)
場所：神戸市立小磯記念美術館
本展では神戸モダニズムが育んだ多彩な美術家たちの作品約170点を紹介します。
油彩画と銅版画を制作した神原浩は、神戸女学院と関西学院で教鞭をとりました。本展では、山本通の学舎を題材にした《神戸女学院風景》24点を全て紹介します(半期展示)。



神原浩(神戸女学院風景 講堂前からの音楽館もとの) 1932年頃 エッチング・紙 神戸女学院大学図書館蔵

※行事について特に記述のないものは、基本的に申し込み不要・無料です。

- 本誌へのご意見、お問い合わせ：神戸女学院大学広報委員会 〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4-1/E-mail kckoho@mail.kobe-c.ac.jp
- 表紙解説：学生支援ネットワーク主催・新入生対象のキャンパスツアー。早くキャンパスに親しんでもらうこと、友人作りの手助けなどを目的として、上級生が学内を案内する。2012年度より実施されている。(本編に記事掲載)